

「求む、翻訳協力者！（第10回国際科学映像祭ドームフェスタ）」

国際科学映像祭（IFSV）ドームフェスタでは、毎年国内外のフルドーム映像関係者が集い、様々な映像作品上映やプレゼンテーションなど、ドーム映像の最前線を担うトップランナーたちの発表や交流の場となっています。特に近年は海外からの注目も高まり、海外作品の応募やプレゼンテーションへの参加も増えてきています。

そこで今年度のドームフェスタ（2020/2/16～18開催）では、翻訳・通訳体制を強化して海外ゲストをお迎えできるよう、語学面でサポートしていただける方を募集することとしました。

具体的には、下記作業の協力者を募集いたします。

- [A] 英語でプレゼンテーションを行う発表者の、発表スライドの英文和訳
- [B] 海外クリエイターからのビデオレター（英語）の日本語字幕作成・追加
- [C] ドームフェスタでの英語プレゼンターの逐次通訳
- [D] その他、ドームフェスタにおける翻訳・通訳作業全般のサポート

B～Dについては応募いただいた方の状況（経験、作業可能時間等）に応じて調整し、依頼させて頂く予定です。

条件

1. フルドーム映像、プラネタリウム等に関わる経験がある方、IFSV ドームフェスタに興味がある方
2. 翻訳をできる英語力（Cに関しては、通訳ができる英語力）をお持ちの方
3. IFSV 翻訳チームの一員として、ドームフェスタ開催準備期間（特に2020年2月上旬頃）に、翻訳作業や打ち合わせ等に、意欲的に取り組んでいただける方

1について

フルドーム映像関連の話題を扱うため、その分野の言語にある程度は馴染みのある方、興味をお持ちの方が望ましいと考えます。

2について

具体的なテストスコア等は求めませんが、基本的には、辞書を使って英文和訳作業が可能な方であれば大丈夫です。（和文英訳は、ほとんどありません）

翻訳よりハードルが高いと思われる通訳については、より経験豊富な方に優先して依頼する予定です。

3について

ドームフェスタ発表用のスライドやビデオレターは、2020年1月～2月上旬に応募

者から届く見込みです。限られた作業時間の中で、作業分担や翻訳作業の相談等を進めていくこととなります。

各々ボランティアでの活動となるため、翻訳チームのメンバー同士で常にサポートし合いながら進められる環境を作りたいと考えています。柔軟に作業分担を調整することで、特定の人に過度の負担や責任がかかりすぎないように努めます。そのためにも、語学力だけでなく、協力的な意識や、こまめな連絡に対応できる姿勢を期待します。

報酬・特典

大変恐縮ですが、(他の IFSV 実行委員同様) ボランティアとして協力いただくこととなるため、基本的に無報酬となります。

ただし、フルドームコミュニティで活躍する世界各国のクリエイターやプロデューサーとのつながりを築いたり、最前線の映像やパフォーマンスの裏側を垣間見ることができたり、など、翻訳や通訳業務を通じて、非常に貴重な体験をすることができます。

なお、ドームフェスタ当日に会場にお越しいただける方は、スタッフ特典としてドームフェスタ招待券を進呈します。

応募・問い合わせ

専用の申し込みフォーム (<https://forms.gle/r26UVcMEuoGo1U7g6>) から、以下の情報をお知らせください。

- ① お名前
- ② 所属
- ③ 連絡先 (Email・電話番号)
- ④ ご自身の翻訳・通訳経験、語学力レベル について
- ⑤ その他メッセージ等 (あれば)

<一次締切 : 11月10日(日)>

その他

IFSV ドームフェスタに向けた翻訳チーム結成は、今回が初の試みです。

おそらく試行錯誤を積み重ねながらの運営になるかと思いますが、適宜改善しつつけて少しずつ良い形を模索していければ、と願っています。

